


あなたの福祉の応援団 



させぼ社協だより



蕨展望所から望む長崎鼻と五島列島

特集

黒島のくらしとふくし

日本の中で、離島が多いと言われる長崎県。
その中の佐世保市には、有人離島といわれる島が
8島（宇久島、寺島、高島、黒島、前島、鑿泊島、大島、
針尾島）あります。

今回は、黒島に焦点をあてて、住民の方々のくらし
とふくしをご紹介します。

- ◆特集 黒島のくらしとふくし P2~
- ◆赤い羽根共同募金のご報告 P6
民生委員・児童委員の改選にご協力ください
- ◆おしらせ P7
- ◆善意のご芳志ありがとうございました P8
寄付のお礼について
LET'Sあたまのストレッチ

社会福祉法人 佐世保市社会福祉協議会



この広報誌は、会費・寄付金や、共同募金の配分を受けて作成されています。



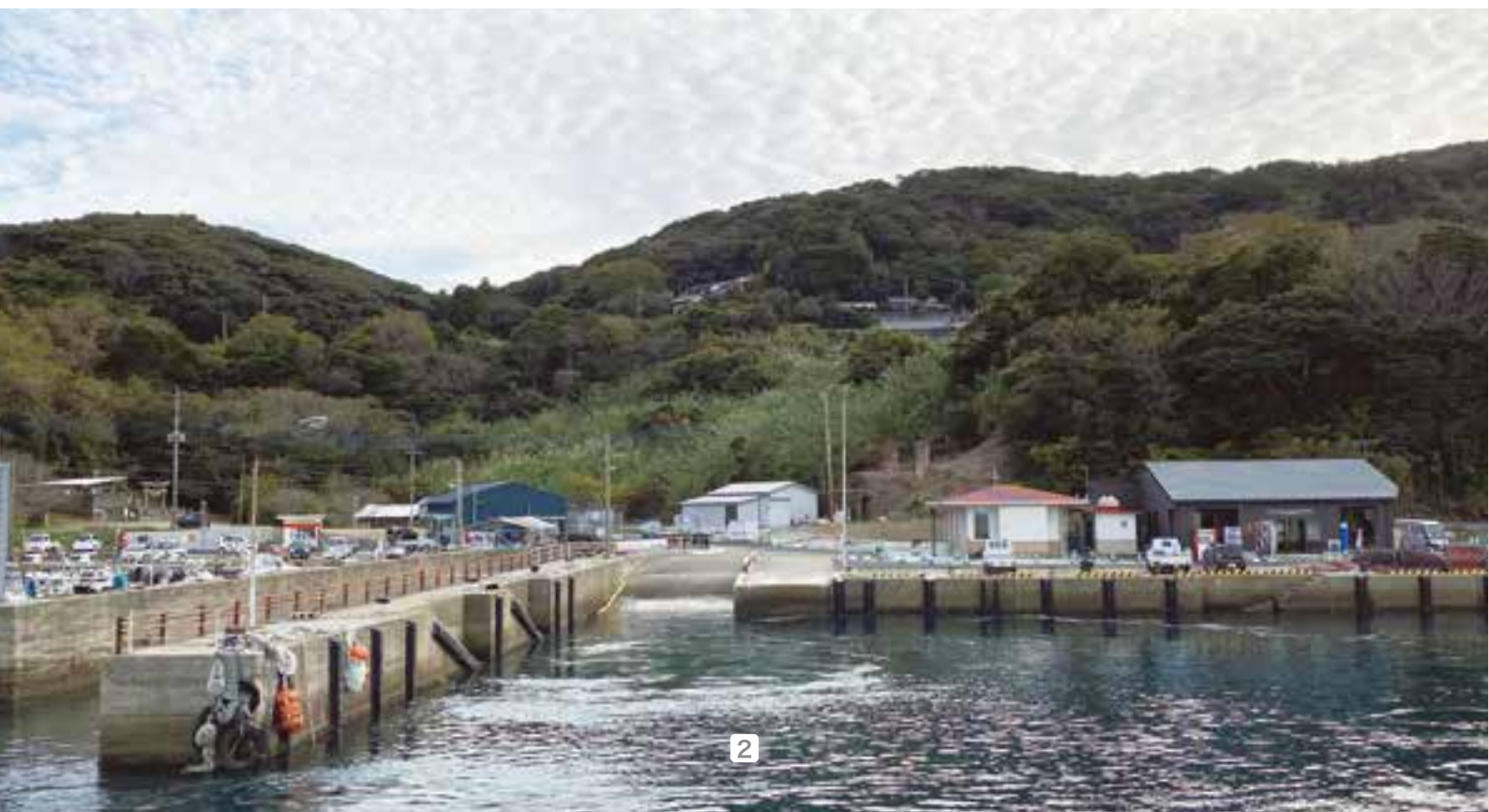
黒島の玄関口である黒島港

黒島のくらしとふくし

黒島は、長崎県北部の北松浦半島の南西にある島で、島民 367 人（令和 3 年 11 月現在）、241 世帯の方が暮らしています。

江戸時代には、キリシタン弾圧から逃れるため、キリシタンが移住するようになり、現在では、島民の半数以上がカトリック教徒と言われています。黒島を代表する黒島天主堂は、2018 年に世界遺産として登録され、休日には観光客が訪れ、賑わいを見せています。

今回は、数多くある離島の中で黒島に焦点をあてて、そこで暮らしている住民の方にお話を聞き、離島の課題やそれを解決するためのふくしの取り組みについてご紹介いたします。





浅田紀代子さん
(浜木綿会代表)

浅田さんは、昭和28年中学生の時に、母の実家がある黒島へ引っ越してきました。18歳で結婚し、6人のお子さんをもうけ、子育ての傍ら、ご主人の自営の手伝いや漁協等に勤めながら、平成5年に婦人会の会長に就任。高齢者の楽しみのために、踊りを教えるようになったそうです。それから、高齢者が集うサロン活動や民生委員に就任され9年間従事されました。

現在は、地域の住民の方々と、体操やグランドゴルフ、踊りなどを行っています。



グランドゴルフの様子



生活支援サポーター養成講座修了



サロンの様子



中村フジノさん

中村さんは黒島の出身で、中学を卒業後、就職のため一旦県外へ出られましたが、黒島へ戻り、22歳で結婚、4人のお子さんがいらっしゃいます。

平成23年から、所有されている土地を提供し、福祉や観光を学ぶ学生や引きこもり支援の団体のみなさんと一緒に畑づくりをして、玉ねぎなどの農作物を作られています。また、自宅にかまどを設置して、黒島の観光にこられた方々へ黒島名物の豆腐や饅頭づくり体験のボランティアをされています。



畑づくりの様子



ふくれ饅頭



豆腐作りのかまど

お二人が幼少の頃の黒島はどんな様子でしたか？

浅田さん：「私が中学生の頃は、人口も2千数百人くらいいて、中学校も2クラスあって、全生徒数150名ほどの生徒がいましたよ」中学を卒業すると島を出て県外等へ就職する生徒がほとんどで、高校へ進学する生徒は少なかったとのこと。

中村さん：「当時は、働きながら、高校に通うのが普通でしたよ。私の学年でも、女性は1人しか高校へ進学しませんでした」お二人のお子さんも、中学を卒業すると進学や就労のため島を出ていかれたそうです。

浅田さん：「佐世保駅まで(親子で)行って、見送るときは悲しかったですね」

中村さん：「働くところが少ないですし、高校もありませんからね」

浅田さん：「(以前、)黒島は、半農半漁で女性は畑仕事、男性は漁に出るかたちで生計を立てている家庭が多くありました」

お二人が地域活動(サロン活動や観光ボランティアなど)をしようと思われた理由は？

浅田さん：「(踊りについては)自分がまず好きだったということ。そして、黒島には高齢者の楽しみがないでしょ」もともとは敬老会の出し物として踊りをしていたそうですが、その後も高齢者の楽しみの一つとして継続しているとのこと。

中村さん：「学生さんや引きこもりの子どもたちと一緒に畑づくりをやって楽しかったんですね。他にも島にはいろいろな芸能人の方も取材に来られて、(観光ボランティアをすることで)いろいろな方々とのふれあいができるからです」

黒島でのくらしの中で課題はありますか？

浅田さん：「病気やけがをした時が心配ですね。今お医者さんが月火・木金(各一泊二日)いらっしゃいます。急の時はドクターヘリや協力している漁船をチャーターして行きます」

黒島には診療所が1か所あり、週に2回お医者様がみえています。入院や入所施設はありません。その為、高齢になり医療や介護の必要が出てくると島を離れていく方が多いとのこと。しかし、逆に、島には元気で自立された高齢者が多くいらっしゃいます。住み慣れた島で長く、楽しく暮らしていくには、住民のみなさんがそれぞれ役割をもって、協力し合っていることが分かりました。



黒島で生活支援コーディネーター（略称：SC）として働いている吉田SCに黒島の現状を聞きました。



吉田SCは、令和3年度から本会黒島地区の「生活支援コーディネーター」として就任し、現在黒島地区の課題に対して、住民の皆さんで解決していく仕組み（支え合い）づくりを行っています。

*生活支援コーディネーターは、話し合いの場（地域支え合い推進会議）を持ちながら、住民主体による生活支援・介護予防サービスの充実に向けた地域づくりを推進、支援しています。



地域支え合い推進会議にて



グランドゴルフメンバーと

吉田SCが、生活支援コーディネーターとして携わっている中で、黒島にある課題は何だと思いませんか？

吉田SC:主に、2つありまして、一つ目は、「一人暮らしの高齢者が増えていて、(その方の)病気の把握ができにくいということです」

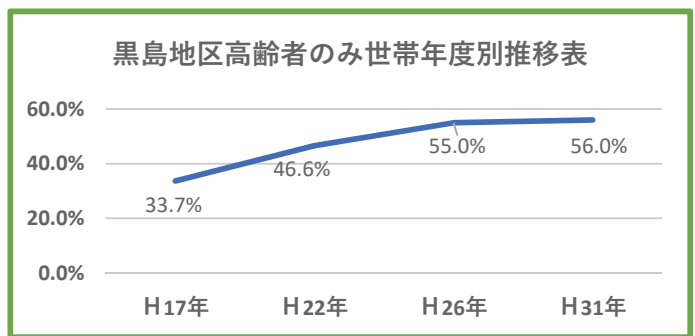
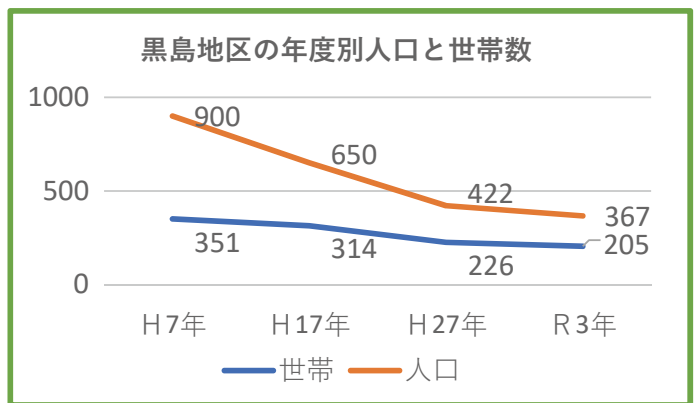
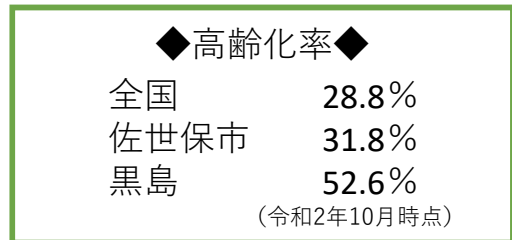
社 協:確かに、その人がどのような病気を抱えているか個人的なことになるので、なかなか他の人が把握しておくことは難しいですね。

吉田SC:2つ目は、島内の移動手段です。黒島は周囲13キロ程の島ですが、起伏があって、坂道が多いんです。だから、高齢者が歩いて外出するには難しくあります。現在、買い物などは、お店の人が商品を持ってきてくれたり、車で送迎してくれたりしていますが、今後継続していけるか疑問です。これから先を見据えた取り組みを今から考えていくべきだと思います。

社 協:黒島は、地形的にも坂道が多くて、家も点在していますね。高齢者が歩いて買い物をしたり、港まで行くには大変ですね。以前、住民の方に行ったアンケートでも「島内の移動」や「島外への病院受診」「買い物」の課題が出てましたね。

吉田SC:今後を見据えた取り組みとして、住民によるボランティア団体の組織化を進めています。また、そのボランティア団体でどのようなサービスをしていくのか検討していく予定です。

社 協:黒島には、施設や事業所が少なく、(福祉などの)サービスを利用したいと思っても、ないことが多いですね。住民の方々の困りごとや不安を住民の皆さんで助け合う仕組みはいいですね。



* 高齢者のみ世帯（独居高齢者と高齢者複合世帯）

住民の方々に行った黒島地区の困りごと・不安なことに関するアンケート調査（令和元年11月実施）

- ・話し相手が欲しい。
- ・困りごとの把握が難しい。
- ・救急の場合の対応。
- ・動けなくなった時の安否確認。
- ・島内の移動。
- ・島外への病院受診が困難。
- ・今後買い物が大変。
- ・水の管理や湯水時の対応。
(生活用水を井戸水で賄っている)
- ・水質への不安。
- ・福祉従事者が不足。
- ・各家庭の後継者が不足している。
- ・畑の草刈り、木の伐採が大変。



R元年 地域支え合い推進会議にて

黒島の魅力を教えてください！



静かなところ

蕨展望台から見た断崖絶壁がきれい！

海がきれい！

小中学校の運動場から見た佐世保、松浦の山並みの見晴らしがいい

教会がきれい！



浜木綿会（サロングループ）のみなさん

人の温かみがある

時間がゆっくりしている

緑が多く、空気がいいし、夜空も星が見られてきれいなところ



山内一樹様



榎本秀実様



和泉キクノ様



令和3年度共同募金運動へのご協力ありがとうございました。



昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により募金活動が制限される中、本年も心温まる多くの募金が集まりました。ご協力をいただきました皆さまには心よりお礼申し上げます。

この活動は、各町内会をはじめ、市内の各種団体、学校、企業の皆さまのご協力によって成り立っており、皆さまからの募金は、地域サロン活動の支援、ふくし教育、福祉人材の育成、相談支援など地域の困りごとや課題解決に向けた様々な地域福祉活動に役立てていきます。

令和3年度実績

赤い羽根共同募金 19,186,649円

歳末たすけあい募金 4,589,518円

* R4年1月31日までの実績

歳末たすけあい募金配分金事業 報告

令和3年度「歳末たすけあい募金」は、皆さまから多くの募金をお寄せいただきました。この募金を財源に本会においては、

- ・生活困窮世帯の支援
- ・児童養護施設入所児童に対する福祉見舞金の配布
- ・子ども食堂への支援
- ・貸出用福祉機器・サロン遊具等の設備を行いました。

* ご協力いただきました皆さま（個人については5,000円以上）のご芳名は、佐世保市社会福祉協議会のホームページに掲載させていただいております。この他にも、市内町内会・公民館・自治会等の皆さま、民生委員・児童委員の皆さまのご協力により多くの募金が集まりました。誠にありがとうございました。



ふれあいいきいきサロン遊具

民生委員・児童委員の改選にご協力ください

本年12月に、民生委員・児童委員が全国一斉に改選されます。
事前に地域の皆さまへ候補者の推薦を依頼しますので、ご協力をお願いします。

（民生委員の役割）

民生委員とは、社会奉仕の精神をもって地域住民の相談に応じ、関係機関・団体と連携しながら必要な援助を行う地域福祉の担い手です。

（選任基準）

佐世保市議会議員の選挙権を有し、人格識見が高く、広く社会の実情に通じ、社会福祉の推進に熱意のある人。

（選任の方法）

町内代表者などで構成される地区推薦準備会から候補者を推薦していただき、市推薦会及び審議会の審査を経て、厚生労働大臣から委嘱されます。

（身分・任期）

非常勤特別職の地方公務員で、任期は3年です。

現民生委員・児童委員は、本年11月30日をもって任期満了となります。

児童福祉法による「児童委員」を兼務します。

（主な職務の内容）

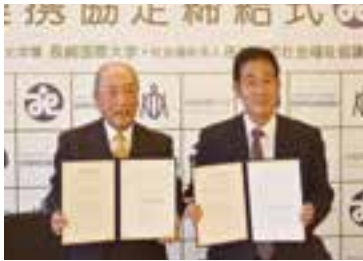
- ・必要に応じ、地域住民の生活状況を把握します。
- ・援助が必要な人に、関係機関・団体と連携しながら、適切な助言及び情報の提供をします。
- ・地域住民の福祉増進を図るための支援活動などを行います。

* 民生委員・児童委員は、秘密厳守が法律で義務付けられています。

詳しくは、佐世保市役所保健福祉部保健福祉政策課（Tel0956-24-1111 内線5514）までお尋ねください。



長崎国際大学と連携協力に関する協定を締結いたしました。



令和3年12月1日（水）、佐世保市社会福祉協議会と長崎国際大学は、連携協力に関する協定を締結いたしました。

この協定締結は、相互が所有する知的・人的・物的資源を有効に活用することで、地域社会における福祉人材の育成と本市における地域福祉の発展に寄与していくことを目的としております。

地域の皆さまが住み慣れたまちで安心して生活できる「福祉のまちづくり」の実現に向けて、これまで以上に緊密な連携・協力を図ってまいります。

江迎と鹿町両支所が統合し、移転します！

令和4年4月1日、江迎と鹿町の両支所を統合し「江迎鹿町支所」となり、以下の住所へ移転します。



移転先住所・電話番号
(令和4年4月1日～)

🚗🚗🚗🚗
お車でお越しの際は
🚗🚗🚗🚗
駐車場をご利用ください

- ◎江迎鹿町介護事業所・支所
TEL:0956-65-3333 FAX:0956-65-3334
〒859-6143 佐世保市鹿町町深江瀧96-1
- 江迎鹿町居宅介護支援事業所
TEL:0956-66-3356 (直通)
- 江迎鹿町通所介護事業所
TEL:0956-66-3355 (直通)
- ◎江迎鹿町介護事業所(別館)
〒859-6142 佐世保市鹿町町深江550-3
- 江迎鹿町訪問介護事業所
TEL:0956-73-1090 (直通)

ひとりで悩んでいませんか？



ひとりで悩まず、まずはご相談ください。

自立相談支援機関（佐世保市委託事業）

〒857-0028 佐世保市八幡町6-1

☎0956-23-0265 ✉ seikon@sasebo-shakyo.or.jp

佐世保福祉人材バンク

佐世保福祉人材バンクでは、福祉のお仕事の紹介・資格取得のご相談・求人情報の提供など、就職活動のお手伝いをいたします。

福祉のお仕事に就職を希望する方や関心のある方、また人材をお探しの福祉施設・事業所の採用担当の方々などお気軽にご相談ください！

〒857-0028 佐世保市八幡町6-1
(佐世保市社会福祉協議会内)
☎0956-24-1184



善意のご芳志ありがとうございました。

- 《個人》 故 後藤 雅敏様 (木風町) 故 木下 和夫様 (大野町) 故 今村 昭子様 (早苗町)
 山口 とし子様 (小佐々町小坂) 水野 美代子様 (小佐々町西川内) 酒井 紀美子様 (小佐々町田原)
 山口 チツ子様 (小佐々町矢岳) 鳥羽 末見様 (小佐々町矢岳) 松田 実様 (小佐々町矢岳)
 白井 都様 (小佐々町楠泊) 金子 秀夫様 (小佐々町楠泊) 佐々木 高信様 (小佐々町楠泊)
 松永 英司様 (吉井町下原) 田原 良子様 (吉井町田原) 諸富 キヨ子様 (江迎町猪調)
 竹村 治三郎様 (宇久町平) 竹村 清美様 (宇久町平) 下道 良隆様 (宇久町平)
 故 角脇 利枝様 (宇久町平) 恵村 直利様 (宇久町平) 新 京子様 (宇久町平)
 中野 光治様 (宇久町飯良) 川端 格平様 (宇久町飯良) 野宮 八郎様 (宇久町本飯良)
 太田 トヨ子様 (宇久町木場) 太田 勝徳様 (宇久町木場) 川口 松幸様 (宇久町太田江)
 福田 洋子様 (宇久町神浦) 平尾 美智恵様 (宇久町神浦) 門屋 敏平様 (宇久町小浜)

- 《団体》 西海物産協栄会 様 三井住友海上火災保険株式会社 長崎支店 佐世保支社 様
 くわ焼の店 たこ政 石井義矩 様 五島ヤクルト販売株式会社 様 金光教 日宇教会 様
 宗教法人 真如苑 様 長崎県合唱連盟 佐世保支部 様 株式会社 堀内組 様

*今回は2021年8月21日～2022年1月16日までに頂いた寄付を掲載させていただきました。
 1月17日以降に頂いた寄付のご芳名は、次回116号(2022年7月発行)に掲載させていただきます。

社会福祉協議会では、香典返しのご寄付や募金などの一般寄付をいただいております。これらの浄財は、様々な福祉事業に活用させていただきます。また、香典返しをご寄付いただいた方には、挨拶状(忌明け礼状)の印刷しております(枚数は金額に応じます)。詳しくは、社協までお気軽にお問合せください。

佐世保市社会福祉協議会各課 連絡先のご案内

- ◆法人運営課◆
 ・社協全体の運営に関する事 ・社協運営の施設に関する事
 ・社協会員に関する事 ・共同募金等に関する事
TEL 23-3174 (代表) FAX 22-0152
- ◆地域福祉課◆
 ・地区福祉推進協議会等の活動に関する事
 ・ふくし教育に関する事
 ・地域活動(いきいきサロン・食事サービス等)に関する事
 ・レクリエーション用具の貸出に関する事
TEL24-1695 (直通) FAX 22-0152
 ・地域支え合い推進会議(協議体)に関する事
 ・生活支援サポーターに関する事
 ・その他、生活支援・介護予防の充実促進に関する事
TEL23-3174 (代表) FAX 23-3175
- ◆総合相談支援課◆
 ・福祉資金貸付等に関する事
TEL23-3174 (代表) FAX 23-3175
 ・認知症高齢者等の福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などに関する事
 ・成年後見に関する事
TEL22-1020 (直通) FAX 23-3175
 ・経済的困窮や社会的孤立等の支援等に関する事
TEL23-0265 (直通) FAX 23-3175
 ・福祉の仕事に関する事
 ・福祉の求人、求職情報に関する事
 ・福祉の面談会等に関する事
TEL24-1184 (直通) FAX 23-3175

LET'S あたまのストレッチ

空欄にひらがな(単語)を入れ、①～④の文字を使って単語を完成させてください。

【応募方法】

- ・はがきかメールに氏名・住所・年齢・答え・社協だよりの感想やご意見を書いて社会福祉協議会へご応募ください。
- ・抽選で15名の方にQUOカード(1,000円分)をプレゼントいたします。

【締め切り】

令和4年6月30日(木) 必着



前回の答えは「さろん」でした。難しかったですでしょうか？
 ヒントとして、答えは、必ずこちらの紙面の中にありますので、探してみてくださいね！

【問合せ先】 **社会福祉法人 佐世保市社会福祉協議会**
 〒857-0028 佐世保市八幡町6-1 ☎:0956-23-3174
 FAX:0956-23-3175 ✉:ura@sasebo-shakyo.or.jp

